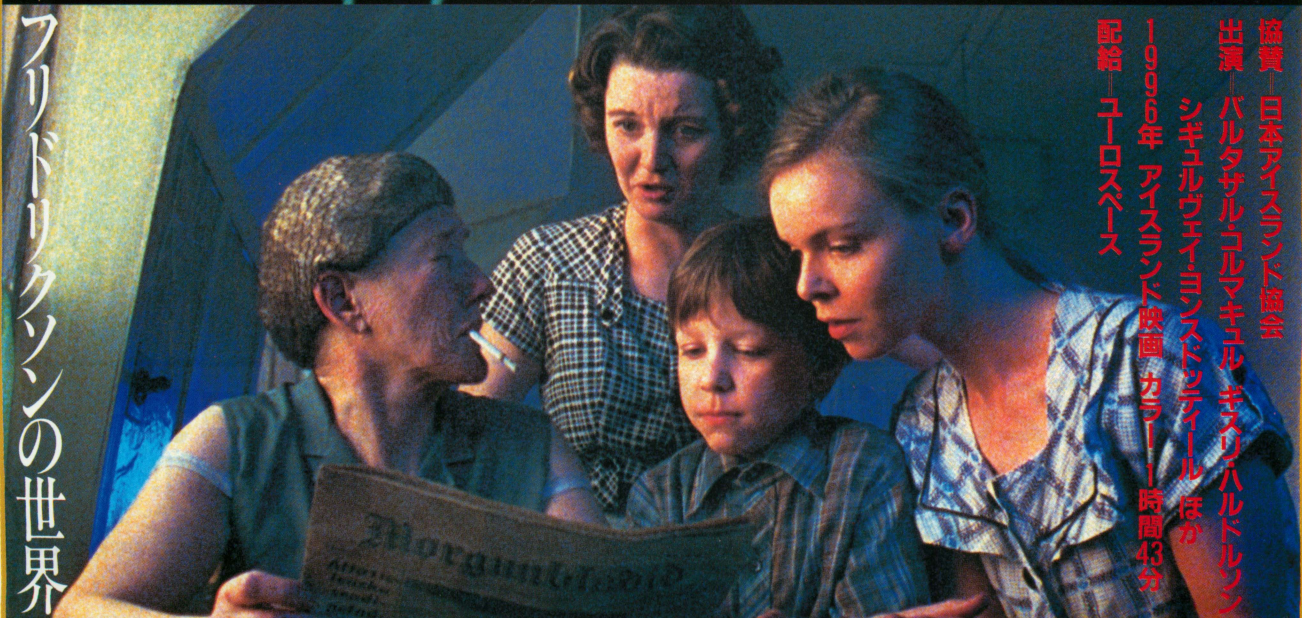
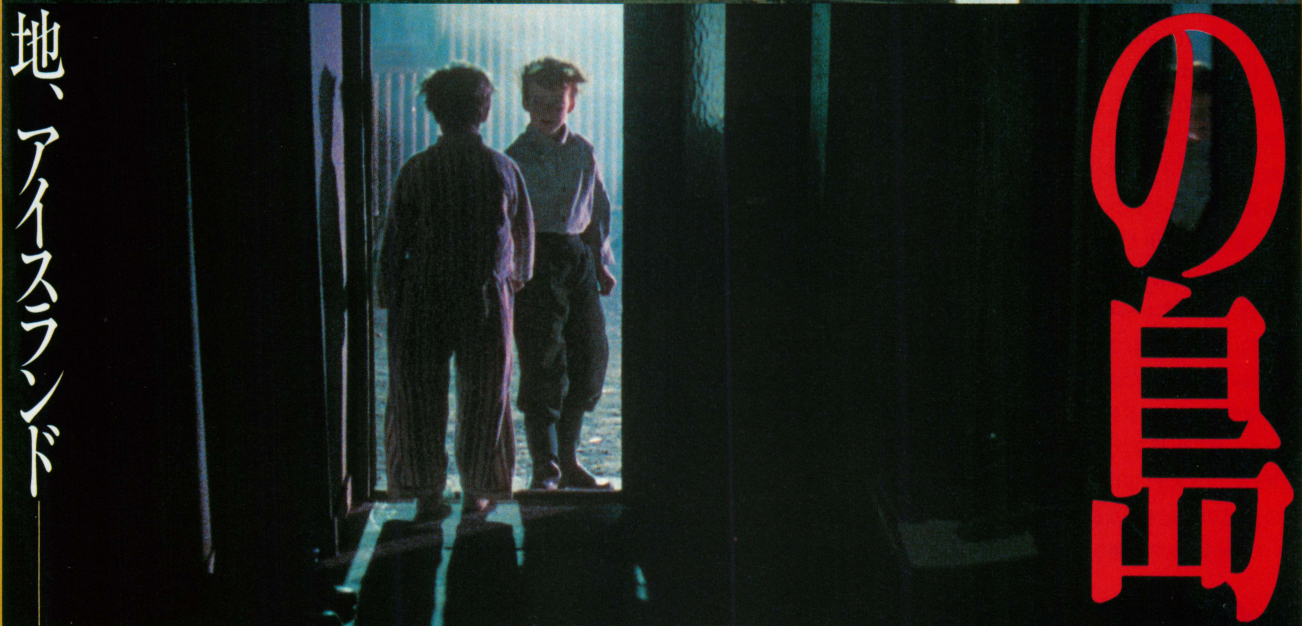


精霊の島

Devil's Island
混沌と希望
レイキャヴィクの
'50年代

ノスタルジーと幻想の地、アイスランド

フリドリクソンの世界



協賛 日本アイスランド協会
出演 バルタサル・ホルマキル、ギスリ・ハルドルソン
シギルヴェイニヨンスドットリールほか
1996年アイスランド映画 カラー 時間43分
配給 ユーロスペース

ノスタルジーと幻想の地、アイスランド——フリドリクソンの世界

精霊の島

混沌と希望 レイキャヴィクの'50年代

協賛＝日本アイスランド協会

出演＝バルタザル・コルマキユル

ギスリ・ハルドルソン

シギルウェイ・ヨンスドットティール ほか

Devil's Island

1996年 アイスランド映画 カラー 1時間43分

配給＝ユーロスペース

今やほとんど知る人のない世界。

愛すべきその世界が、かつて確かにアイスランドに存在していたことを知ってもらえたら、

これほど嬉しいことはありません。——フリドリク・トル・フリドリクソン

珠玉のアイスランド映画

◆『春にして君を想う』が'92年アカデミー賞外国語映画賞にノミネートされたことは、アイスランド映画界を揺るがす快挙だった。遠い昔を過ごした故郷の地を再び訪れる老いた男女の物語を、切ないほどに透きとおる美しい映像に封じ込めたこの作品は、たちまち世界を魅了した。監督の名はフリドリク・トル・フリドリクソン。若干38歳の俊英は、長篇第二作目にして、まだ歴史の浅いアイスランド映画を一躍世界の檜舞台へと導いたのだった。

◆続く、ウディ・アレンの『ラジオ・デイズ』になぞらえて映画に夢中だった幼少時代の思い出の数々をつづった『ムービー・デイズ』(94)、永瀬正敏主演の『ワールド・フィーバー』(95)も世界的に大成功をおさめ、フリドリクソンの評価は不動のものとなった。

◆故郷アイスランドを愛し、アイスランドに根ざした心に残る作品を次々と生み出し続けるフリドリクソン。アイスランドにオマージュを捧げた一連の作品の完結編となる『精霊の島』(96)が、ついにロードショー公開される。

レイキャヴィクの'50年代

◆戦後のレイキャヴィク。米兵が残っていたバラックに住みついた人々がいた。新しい欧米の文化がどんどん流れ込んできた時代。そこに



は、時代がもたらす変化に戸惑いながら、支えあって生きる家族の悲喜こもごもの日常がある。

◆不思議な霊能力をもつカロリナの家は、四世代が一緒に住む大家族。米兵と再婚して渡米した母の後を追った孫バディが、数年後、帰郷する。アメリカに憧れるバディの振る舞いはやがて周囲に微かな不協和音を奏ではじめ、カロリナの予言が思わぬ形で現実となる……。



実話にもとづいた ベストセラー原作

◆『精霊の島』の原作、エイナル・カラソンによる小説『デビルズ・アイランド』は、1983年に発表された。実際にバラック街に住んでいた人物が語った実話をもとに書かれたこの小説は、発売されるやいなや大ベストセラーとなり、現在までに9カ国以上で出版されている。

心優しい人々の毎日

◆フリドリクソン監督は、文化と文化の、そして個人と個人の間で軋みを生みながら、異なる文化がやがて少しずつ溶け合い、姿を変えていった時代そのものを生き生きと映しとった。独特のオブビートなユーモア感覚をまじえて描き出された人々の日常生活は、何よりも雄弁に当時を語る。この物語は、アイスランドの20世紀を彩る歴史の1ページそのものといえる。

◆神秘めいた精霊の存在はフリドリクソン作品



ではお馴染みだが、本作ではより邪悪な色彩を帯び、人々を苦しめる。しかし、不運を招く悪魔の存在を信じ恐れながらも、それを受け入れ明日を見据える姿に悲壮感はなく、大地に根をはった生命力を感じさせる。かたくなに拒んでいた新しい文化をもやがて受け入れていくしなやかな生きざまは、それらを拒絶するよりもはるかな強さを観る者に示すだろう。

最高のクルーが結集

◆製作には、フリドリクソン監督の映画で共に仕事をし、急速に力をつけてきた最高のクルーが結集した。

◆'50年代のレイキャヴィクを当時の空気そのままにフィルムに焼きつけた撮影のアリ・クリスティンソン。音楽に、数々の賞に輝く辣腕音楽プロデューサーでもあるマルチ・ミュージシャン、ヒルマル・オルン・ヒルマルソン。美術のアオルニ・パオウル・ヨハンソンは1年もの歳月をかけてセットを完成させ、当時の様子を見事に再現した。

◆俳優には、『春にして君を想う』の名演が忘れられないギスリ・ハルドルソン。時代の流れに戸惑う祖父トマスを好演し、作品にさらなる深みを与えている。

◆アメリカに憧れる青年バディを演じたバルタザル・コルマキユルは、目下成長著しい大人気俳優。舞台監督としても高い評価を得ている多才な人物だ。

12月26日☉よりお正月ロードショー!

『精霊の島』に引き続き『ムービー・デイズ』連続ロードショー公開!

特別鑑賞券1400円絶賛発売中! (当日一般1700円/学生1400円/シニア1000円)

●当劇場窓口および都内各プレイガイド、チケットぴあ、チケット・セゾンにてお求めください。

●上映時間

連日	12:00	2:15	4:30	6:45
----	-------	------	------	------

ユーロスペース ☎03(3461)0211
渋谷駅南口下車2分 JTB前さくら通り上がる